

2024年度（2024年9月1日～2025年8月31日）

## 環境DNA学会事業報告

一般社団法人環境DNA 学会

### 1. 学術大会の開催（大会実行委員）

第7回環境DNA学会つくば大会を実施した。

1) 期日：2024年11月30日（土）～12月4日（水）

2) 場所：つくば国際会議場

3) 参加者：272名（企業展示等関係者含む）

環境DNA学会：学会員： 224名 非会員： 47名

4) 講演数：公開シンポジウム、企画集会 2件、自由集会 2件、協賛セミナー 2件、

ポスター発表 79件（学会員 67件、高校生 12件）

5) 協賛：プラチナ 2社、ブロンズ 1社

\* なお、大会報告については環境DNA学会ニュースレターNo.7にて掲載済。

### 2. 技術セミナーの開催（事業委員会）

環境 DNA 技術の普及と発展を目的とし、技術セミナーをオンライン（ウェビナー）形式で開催した。環境 DNA 学会マニュアルの中でもこれまであまり解説されていなかった DNA メタバーコーディングでのシーケンス実験について、講師からマニュアルの内容に従って課題と留意点を丁寧に解説いただく情報提供を行った後、質疑応答と討議を行った。また実務者向けに CPD 技術者継続教育の修了書を発行した。

2024 年度技術セミナー

「環境 DNA 調査・実験マニュアル」によるシーケンス実験の課題と留意点

開催日：2025 年 7 月 14 日 13:00-15:00 (Zoom ウェビナーオンライン)

講師：山川 央（かずさDNA研究所）

オーガナイザー：土居 秀幸（京都大学）

参加：142名（うち一般 88名、学生 7名、賛助 47名）

### **3. 環境DNA調査・実験マニュアル改訂版の公開**

環境DNA技術標準化委員会におけるマニュアル改訂メンバー6名（源、土居、山川、村岡、山中、高原）が中心となって改訂版を作成し、2024年8月9日に最新版である Ver. 3.0を発行した。

### **4. ISOの策定について**

環境DNAサンプルの採水および保存について、ヨーロッパの標準をベースとしたISO 化についてISO/TC 147/SC 5/WG 13で議論が進行中である。学会からは、荒木、近藤、土居、源、村岡、山中の理事6名が環境DNA規格開発（ISO17805）エキスパートとして参加している。また、国際的なタスクフォースiESTF（International eDNA Standardization Task Force）において、「PRESERVATION AND EXTRACTION OF

MACROINVERTEBRATE BULK SAMPLES」などの6項目についても議論が進行中である。

## **5. Southern eDNA Societyとの連携**

Southern eDNA Societyとの連携について議論している。Southern eDNA Societyにて2年ごとの学会大会が開催されるにあたり、招待講演者を日本人から推薦してほしいという依頼があり、源利文会長が2nd Australian & New Zealand eDNA Conference (Southern eDNA Societyの学会大会、2025年2月18～21日)にて基調講演を行なった。

## **6. 広報活動（広報委員会）**

### **1) ニュースレターの発行**

環境DNA 学会の活動報告と情報共有を目的とし、2025年6月に第7号となるニュースレター（日本語版24ページ、英語版28ページ）を学会員向けに発行した。主な内容は学会長挨拶、第7回環境DNA学会つくば大会開催報告、環境DNA研究最前線、天然海綿スポンジを用いた環境DNAパッシブサンプリング法の紹介、ご寄付の報告、編集あとがきである。

## 2) 学会ウェブサイトおよびSNS (X) の運用

学会大会開催情報をはじめとした学会活動に関連する事項について随時記事を掲載し、国内外に向けた情報発信を行なった。

## 7. 関連機関との連携・協力並びに社会貢献・社会教育の推進事業

### 1) 日本科学未来館との協同社会教育活動

日本科学未来館と協同で行っていた小学生向け環境DNAに関するパズルを、大阪万博関連イベント「私とみらい、つながるサイエンス展」での東北大学「ネイチャーポジティブ社会発展社会実現拠点」の一環として展示した。このパズルは今後、愛媛県総合科学博物館で展示される予定。

### 2) 環日本海環境協力センターとの連携

環日本海環境協力センターでは、環境DNA を利用して日本海の生物多様性評価を行うという計画があり、それに対して助言を行った。

環境DNA調査・実験マニュアルVer. 3 の英訳を行った。

## 8. 代議員会、理事会、その他

### 1) 理事会

2024年10月8日 第1回臨時理事会（Zoom によるオンライン）理事16名、監事2 名

2024年12月4日 定時理事会（於：農研機構 新橋事業場・Zoomオンライン）理事17名、監事2 名

2024年12月4日 第2回臨時理事会（於：農研機構 新橋事業場・Zoomオンライン）理事18名、監事2 名

2) 代議員会

2024年12月4日 定時代議員会（於：農研機構 新橋事業場・Zoomオンライン）代議員 10名

9. 事業計画および収支予算書

2024年12月4日開催の理事会において、2024年度事業計画および収支予算書を承認した。

10. 会員動向

会員種別	2023年度末	2024年度末	増減	備考
正会員（一般）	206名	232名	+26名	新規 51名 更新 181名
正会員（学生）	43名	56名	+13名	新規 34名

				更新 22名
賛助会員	31団体	36団体	+5団体	新規 2団体 更新 34団体

以上

事業報告の内容を補足する重要な事項

特になし